

平成 30 年度 第 2 回 伊勢市障害者施策推進協議会 議事録

開催日時 平成 31 年 2 月 14 日 (木) 午後 7 時 00 分～
開催場所 福祉健康センター 2 階娯楽室
出席委員 宮崎 吉博会長、市川 知律副会長、高井 幹雄委員、大杉 成喜委員、齋藤 茂委員、
倉野 直紀委員、小林 えり子委員、川合 正良委員、鈴木 弘之委員、三宅 浩委員、
溝井 力委員、金子 直由委員、前田 泉委員、伊豆 敏委員、中川 肇委員、
山吉 秀樹委員、吉川 秀明委員、竹田 秀成委員、藤田 典子委員
事務局 障がい福祉課長、障がい福祉係長、職員 1 名
こども発達支援室長、学校教育課副参事
傍聴者 6 名

1 あいさつ

子ども、障がい者、高齢者に対する虐待が社会問題となっている。伊勢市の障がい者施策として解決策がないか、この場で議論を交わしながら模索していきたい。

2 部会報告

●自立支援部会、手話言語等コミュニケーション部会の各部会長より報告を行う。

(自立支援部会)

【報告要旨】

○地域生活支援拠点チーム、人材確保・養成チーム、就労支援チームの取組み進捗状況

【各委員の主な意見】

○特になし

(手話言語等コミュニケーション部会)

【報告要旨】

○医療場面での手話通訳の依頼が増加傾向にある

○コミュニケーション支援ボードなどを用いて、コミュニケーションのバリアをなくしていきたい

【各委員の主な意見】

○医療の専門用語について、手話通訳者が研修を受ける機会はあるか

⇒市・県の現任研修で受講機会があるが、医療関係の用語は難しい。ろう者が専門用語を理解できないこともあり、いかに工夫してろう者にその用語を伝えるかが大切である。

○皇學館大学の特別支援教育の教員養成課程でUDトークを用いた演習をしている

⇒伊勢市の窓口でもUDトークを導入している。

○伊勢市のコミュニケーションボードは非常によくできている

⇒伊勢市のホームページでダウンロードができるので活用していただきたい。

3 伊勢市障害者施策の現状と今後について

●伊勢市障害者施策の現状についての報告を行う

【各委員の主な意見】

○障がい者サポーターのステップアップ講座はどれくらいの時期に行われるのか

⇒当初計画では、当初3年間はサポーターの登録者数を増やすことを第一目標としている。来年度で3年目に到達するため、ステップアップ講座については来年度に検討していく予定である。

○就労体験サポート事業を利用し、雇用に結びついた人はいるか

⇒就労体験サポート事業の主旨は、就労につながらない人の支援にある。現状としては、雇用に結びついたと事例報告を受けていない。

○キッズサポーターの体験をした児童の感想などを集約、把握しているか

⇒授業を実施した小学校はもれなく『やさしいまち伊勢市支援事業』の対象学校である。当該事業の実績報告の中で感想の集約などがあがると思うが、現時点では把握していない。

4 その他

●障がい福祉施設の再編及び成年後見サポートセンターの設置についての今後の予定報告

【各委員の主な意見】

伊勢市在住の障がいのある人が市外の施設を利用しなければならない現状について問題分析をしっかりと行い、利用者のニーズに添えるようにしていただきたい。

●事務局より、第8回障がい者サポーター研修会開催報告

2月23日に障がい者サポーター研修会を予定している。伊藤真波さんを招き、講演会をする予定。各委員の所属でも周知をお願いしたい。